



1987年02月12日

フォルクスワーゲンゴルフに“GTI 16バルブ”を新発売

株式会社ヤナセ(社長 稲山孝英)は、フォルクスワーゲンのゴルフ・シリーズに、最上級・最高性能車のGTI 16バルブを新しく加え、3月7日(土)、8日(日)全国のヤナセネットワーク約100店で開催する'87ヤナセスプリングフェアを機に発売を開始する。

機種は2ドア 左ハンドル 5速マニュアル・トランスミッション車1車種で、販売計画は、'87年モデル車(～9月)で200台である。

標準車両本体価格は次の通り。

東京 3,690,000円

大阪 3,700,000円

名古屋 3,690,000円

福岡 3,730,000円

札幌 3,806,000円

仙台 3,730,000円

フォルクスワーゲンは、新たにゴルフ GTI 16バルブを加えて計24種と、輸入車では他に例のない豊富な車種構成を持つ。

昨1986年は輸入車の登録台数が68,357台と史上最高を記録したが、フォルクスワーゲンは16,067台、マーケットシェアで23.5%を占め、日本においての不変のベストセラーを20年以上継続している。

ゴルフ GTI 16バルブは、フォルクスワーゲンの新世代ツインカム 4バルブ エンジンを搭載した、いわばスーパー・ゴルフで、スポーティカーである一方、市街地走行での扱い易さ、そしてゴルフ本来の機能性、実用性を併せ持ち、更に高速巡航能力、加速能力を高めた高性能モデルである。

GTI 16バルブの特徴は、高いトルク・出力を低い燃費で得られること、ツインカム・エンジンでありながら、各バルブの挟角を25°と狭めたことで、エンジン本体がコンパクトになり、エンジン・ルーム内の納まりも良く、従って補機類を含めてのメンテナンス性に優れ、また軽量ゆえに前輪駆動方式との調和も良いという利点を持つ。

新設計の吸排気系マニフォールド、燃焼室により、2,500回転の低域から6,000回転の高域まで、最大トルクの90%を得られ、GTI 16バルブ専用の5速ギヤとの組み合わせにより非常にフレキシブルで、特に中間追い越し加速に優れている。

サスペンション関係も、高出力エンジンに合わせて強化され、コイル・スプリング、ショック・アブソーバーにチューニングが施されている。また、市街地走行での乗心地を損なうことなく、高い運動性能を持っている。

フロント・スポイラーには、前輪ディスク・ブレーキ用の冷却ダクトを備えている。

常に最適のシートベルト・ポジションが得られるように高さ調節可能な、上部ガイド付シートベルトが前席に装備されているのは、フォルクスワーゲン全モデル共通である。

主要諸元は次の通り。

フォルクスワーゲン ゴルフ GTI 16バルブ(E-19PL)

全長	3,985mm
全巾	1,680mm
全高	1,395mm

ホイールベース	2,475mm
トレッド 前 / 後	1,430mm / 1,425mm
最低地上高	175mm
車両重量	1,020kg
最小回転半径	5.0m
乗車定員	5名
総排気量	1,780cc
圧縮比	10.0
最高出力	125 / 5,800 PS / rpm DIN
最大トルク	16.8 / 4,250 Kgm / rpm DIN
燃料タンク容量	55l
使用燃料	無鉛ハイオク
変速機	前進5速(フルシンクロ)、後進1速
変速比	第1速 3.455 第2速 2.118 第3速 1.444 第4速 1.129 第5速 0.912 後退 3.167
最終減速比	3.667
サスペンション	(前)マクファーソンストラット / スタビライザー付 (後)トレーリングアーム / スタビライザー付
ブレーキ	前後輪ディスク(フロントベンチレーテッド)
タイヤサイズ	185 / 60R14 82H
ホイールサイズ	6J x 14

尚、フォルクスワーゲンのスポーティ・モデルとしては、ゴルフGTIが新たに4ドアとなり、シロッコのGTI 16バルブは、四月発売予定である。

資料提供: 株式会社ヤナセ